

平成30年度病害虫発生予察注意報第8号

平成31年3月4日
愛知 県

作物名：キャベツ
病害虫名：コナガ

1 予想発生地域 県内全域

2 予想発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

2月下旬に実施した巡回調査の結果、キャベツにおけるコナガ（図）の寄生株率が1.8%（平年 0.8%、前年 0.3%）、発生ほ場率が26.3%（平年11.0%、前年 5.3%）で、ともに過去10年と比較して3番目に高い。名古屋地方気象台2月28日発表の1か月予報によると、発生に好適な気温の高い状況が続くと見込まれる。

4 防除対策

(1) コナガは、春先に気温が高くなると成育が早くなり、発生量が増加するため、発生を確認したら、すみやかに防除する。

(2) 適用のある農薬で防除する（表）。周辺に収穫間際の作物がある場合は、特にドリフトに注意し農薬を散布する。

(3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、IRACコードを参照に同一系統の薬剤を連用しないよう注意する（表）。

(4) IRACコード：28やIRACコード：22A等の農薬について、栽培地域で防除効果の低下が疑われる場合は、別系統の薬剤を散布する（表）。

(5) 発生が多いほ場は、周辺ほ場への発生源になるので、収穫終了後は残渣を速やかにすき込む。

表 コナガに対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	希釈倍数	使用回数	IRACコード
トルネードエースDF	収穫7日前まで	1000～2000	2回以内	22A
スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	2500～5000	3回以内	5
ディアナSC	収穫前日まで	2500～5000	2回以内(定植後)	5
アフーム乳剤	収穫前日まで	1000～2000	3回以内	6
ベネビアOD	収穫前日まで	2000～4000	3回以内(定植後)	28
トアローフロアブルCT	収穫前日まで	1000～2000	—	11A
フローバックDF	収穫前日まで	1000～2000	—	11A
エスマルクDF	収穫前日まで	1000～2000	—	11A

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2018/mechanism_irac02.pdfを参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。



図 コナガ幼虫

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話0561-62-0085 内線471